

CC-W67D (08600-K9032) PD-2976

ワイドシンプルCDチューナー

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

ダイハツ工業株式会社

目次

はじめに

ご使用前に.....	3
安全に正しくお使いいただくために.....	3
安全上のご注意.....	4
取扱上のご注意.....	6
ご確認事項.....	6
本体のお手入れについて.....	6
エラー表示について.....	6
CD の再生について.....	6
CD について.....	6

本機の操作

■ 基本の操作.....	8
電源を入れる.....	8
ソースを選ぶ.....	8
音量を調節する.....	8
時計を合わせる.....	9
■ ラジオ放送を聴く.....	10
ラジオを選ぶ.....	10
プリセット選局する.....	10
手動選局する（マニュアル選局）.....	10
快速選局する.....	10
自動選局する（シーク選局）.....	11
自動で放送局を登録する（オートストア機能）.....	11
放送局を登録する（プリセットメモリー）.....	11
■ CD/MP3/WMA を聴く.....	12
MP3/WMA について.....	12
ディスクを入れる.....	13
ディスクを取り出す.....	13
すでに入っているディスクを聴く.....	14
曲を選ぶ.....	14
早送り / 早戻しする.....	14
次のフォルダを切り替える.....	14
フォルダを切り替える（フォルダ選択モード）.....	14
■ ポータブルオーディオを聴く（AUX）.....	15
AUX を選ぶ.....	15
AUX 入力 of 接続のしかた.....	15

その他

故障かな？と思ったら.....	16
エラー表示について.....	16
仕様.....	17
アフターサービスについて.....	18

ご使用の前に

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この『取扱説明書』の表示では、製品を安全に正しくご使用していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った使用をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った使用をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中には具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



❶記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

安全上のご注意

- 安全のため、ご使用前に『取扱説明書』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

■使用上のご注意

⚠ 警告

- 運転者は走行中に操作をしない…
前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 本機を分解したり、改造しない…
事故や火災、感電の原因となります。
- ディスプレイ部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない…
事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店にご相談ください。
- ディスク挿入口や機器内部に水や異物を入れない…
火災や感電の原因となります。

⚠ 警告

- 万一、異物が入った、水が入った、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起こったときは、ただちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店に相談する…
そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する…
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

 **注意**

- **運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する…** 

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- **ディスク挿入口に手や指を入れない…** 

けがの原因となることがあります。
- **本機を車輛用以外には使用しない…** 

感電やけがの原因となることがあります。
- **電源を切るときは、音量を最小にする…** 

電源を入れたときに突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
- **音声が割れる、歪むなどの異常状態で使用しない…** 

火災の原因となることがあります。

取扱上のご注意

ご確認事項

-   マークのついた CD をご使用ください。
- CD-R/RW/CD-ROM で記録されたディスクでもご使用できない場合があります。
- また、シースルーディスク(半透明 CD)、ハート形や八角形など、特殊形状の CD はご使用しないでください。取り出せなくなる場合があります。
- 車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機を使用すると、ディスクや光学部品が曇って正常な動作を行わないことがあります。ディスクが曇っているときは、やわらかい布でふいてください。また光学部品が曇っているときは、1 時間ほど放置しておくと、自然に曇りがとれ、正常な動作に戻ります。

本体のお手入れについて

- 本機をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布に付けて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。



- ・樹脂加工部に、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。部品変形により故障することがあります。
- ・自動車用クリーナーなどは使用しないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

エラー表示について

- 本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。ディスプレイにエラーが表示されたときには、「**エラー表示について**」の項目(16 ページ)を参照して障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作になります。

CD の再生について

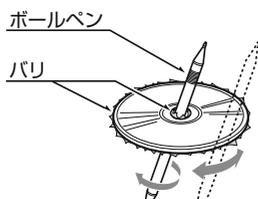
- 本機は精密な機構を使用しているため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解したり、回転部分に注油したりすることはやめてください。
- ディスクを再生中、振動の激しい悪路を走行すると、音飛びを起こすことがあります。
- ディスクをイジェクトした状態で走行しないでください。走行中の振動により、ディスクが落下する恐れがあります。

CD について

■ 取扱上のご注意

- CD-R, CD-RW は、通常の音楽 CD に比べ高温多湿の環境に弱く、一部のディスクでは再生できない場合があります。車室内に長時間、放置しないようにしてください。
- 各種コピーコントロール CD は、CD 規格に合致しない特殊ディスクであり、弊社としては CD 再生機器における再生保証は致しかねます。万一、このような特殊ディスクの再生に支障がある場合には、CD の発売元にお問い合わせください。
- 記録面に、傷、指紋、ほこり、汚れなどを付けないように扱ってください。
- レーベル面(印刷面)や記録面にシール、シート、テープなどを貼らないでください。
- セロハンテープやレンタル CD のラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があったりする CD は使用しないでください。そのまま CD プレーヤーに入れると、CD が取り出せなくなり、故障の原因となります。

- 新しいディスクには、ディスクの周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなディスクをご使用になると、動作しなかったり音飛びの原因となります。ディスクにバリがあるときは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。



■ CD の保管時のご注意

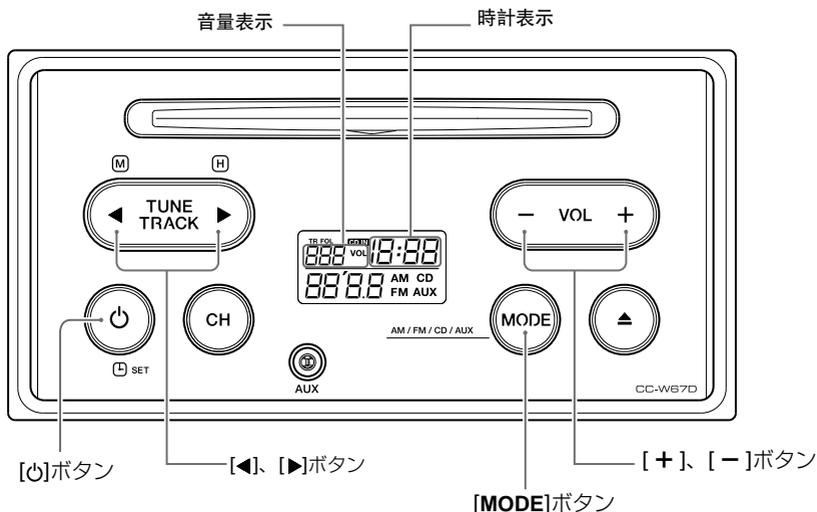
次のような場所には保管しないでください。

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房の熱が直接当たる場所

■ CD のお手入れ

- ディスクが汚れたときには、やわらかい布で、内側から外側へ向かって、よくふいてください。
- レコードクリーナー液やアルコールなどでふかないでください。

基本の操作



電源を入れる

- 1 [ON] ボタンを押す



■ 電源を切るときは…

もう一度、[ON] ボタンを押す

音量を調節する

- 1 [+], [-] ボタンを押す



→ [+] ボタンを押すと音量が大きくなり
[-] ボタンを押すと小さくなります。
調整範囲は、0 ~ 40 です。

ソースを選ぶ

- 1 [MODE] ボタンを押す



→ 押すたびに、次のように切り換わります。

AM → FM → CD → AUX → AM...

- ・ディスクや AUX が入っていないときは、「CD」や「AUX」をスキップします。

⚠ 注意

- ・運転中は車外の音が聞こえる程度の音量にしてください。

時計を合わせる

本機時計は 12 時間表示です。

1 [⏻] ボタンを押し続ける (2 秒以上)



Ⓜ SET

→時計表示が点滅して、時計設定モードになります。

2 [◀]、[▶] ボタンを押して、時刻を合わせる



- [◀] ボタン：「分」
- [▶] ボタン：「時」

3 [⏻] ボタンを押す



Ⓜ SET

→時刻が設定されます。

自動で放送局を登録する (オートストア機能)

オートストア機能について…

自動受信した放送局を、プリセットメモリーに登録します。

- 1 [MODE] ボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ



→押すたびに、次のように切り換わります。
AM → FM → CD → AUX → AM...

- 2 [CH] ボタンを押し続ける (2 秒以上)



→自動的に受信感度の良い放送局 (6 局) を登録します。

ご注意

- ・受信可能な放送局が少ない場合は、登録できる放送局が6局に満たないことがあります。
- ・登録できる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻って、登録をします。また、オートストアを2回繰り返しでも6局に満たない場合は、それまでの登録内容が残ります。

放送局を登録する (プリセットメモリー)

プリセットメモリーについて…

プリセットメモリーできるのは、AM,FM(各6局)合計で12局登録できます。

- 1 [MODE] ボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ



→押すたびに、次のように切り換わります。
AM → FM → CD → AUX → AM...

- 2 [◀], [▶] ボタンを押して、メモリーしたい放送局を選ぶ



- 3 [MODE] ボタンを押し続ける (2 秒以上)

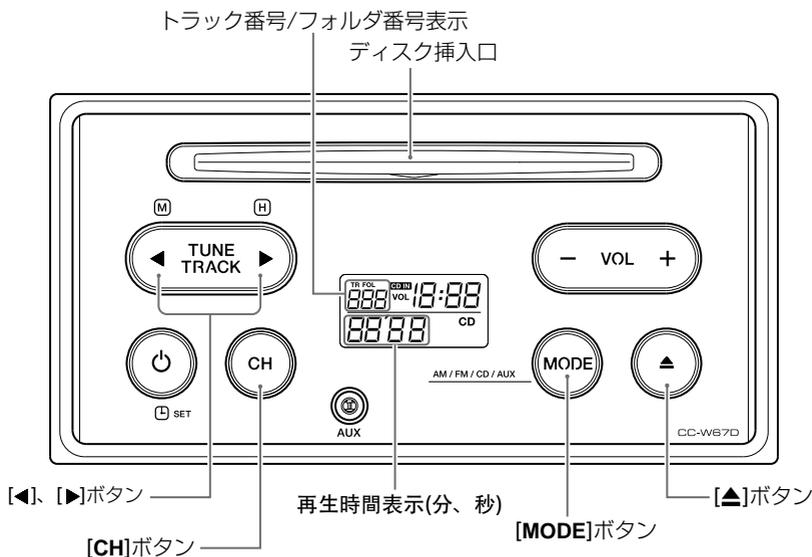
→プリセット No. 表示が点滅します。

- 4 [CH] ボタンを押して、プリセット No. を選ぶ



- 5 [MODE] ボタンを押す
→放送局が登録されます。

CD/MP3/WMA を聴く



MP3/WMA について

● MP3 とは

MPEG 規格のオーディオ・レイヤー 3(MPEG audio layer3) に分類される音声圧縮方式で、パソコンユーザーの間で同方式は標準フォーマットとして浸透しています。

オリジナルの音声データを約 1/10 のデータ量にまで圧縮でき、さらに高音質なのが特長です。1 枚の CD-R/RW ディスクに、CD 約 10 枚分に相当する音楽を収録することで、ディスク交換不要の長時間再生が可能です。

● WMA とは

・「Windows Media Audio」の略で、マイクロソフトが開発したオーディオファイルのことです。

● DRM (著作権保護) の解除方法について

WMA の DRM (著作権保護) が ON のままのファイルを再生した場合は、再生時間の表示は「--'--」で点滅して、5 秒後次の曲を再生します。解除してファイルを作成してください。

※ 作成した WMA ファイルにおいては、個人の責任において実施してください。

● ファイル作成時のご注意

再生可能なサンプリングレート、ビットレートについては「仕様」(17 ページ)をご覧ください。

ファイル拡張子

- ・ファイル拡張子には、必ず半角文字で拡張子「.MP3」「.WMA」「.mp3」「.wma」を付けてください。それ以外の拡張子付けた場合や拡張子を付けなかった場合には、再生できません。

論理フォーマット (ファイルシステム)

- ・MP3/WMA ファイルを CD-R/RW に記録する場合、ライティングソフトのフォーマット設定は「ISO9660 (レベル 1.2)」、Joliet、Romeo」を選択してください。他のフォーマットで記録した場合には正常に再生しない場合があります。
- ・同一フォルダ内に、同じファイル名を付けしないでください。

フォルダ数 / ファイル数

- ・MP3/WMA (ディスク)
フォルダ数：最大 255 フォルダ (1 フォルダあたり最大 255 ファイル)。
フォルダ + ファイル数：最大 512

■ ディスクの再生について

- ディスクを入れると、「CD IN」を点滅して、ディスク内のすべてのフォルダをチェックしたのち、再生がはじまります。チェックをしている間は音が出ません。読み込めないフォルダなど、作成したディスクによっては、チェックする時間がかかる場合があります。
- MP3/WMA 以外のファイルに拡張子は、「.MP3」「.WMA」「.mp3」「.wma」を付けて再生した場合は、再生時間の表示は「00' 00」で点滅して、5秒後次の曲を再生します。
- 曲の再生はディスクに記録した順番に行われます（パソコン上で表示される順番通りに再生されるとは限りません）。
- 記録時のエンコーダーソフトによっては、若干ノイズが発生する場合があります。
- 読み込めないファイルは、そのファイルは飛ばして、次ファイルを再生します。記録時のエンコーダーソフトによっては、若干ノイズが発生する場合があります。
- マルチセッションディスク（音楽CD-DAの曲とMP3/WMAの曲が混在したディスク）再生の時、CD-DAの曲だけが再生できます。

ディスクを入れる

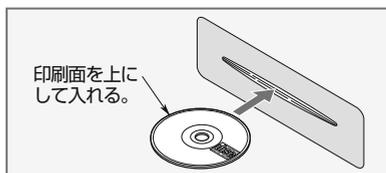
ディスクインプレイ機能について…

本機の電源が入っていない状態からでも、車のエンジンキーがON またはACC であればディスクを入れると、自動的に電源が入り、再生をはじめます。

⚠ 注意

- ディスク挿入口に手や指を入れしないでください。また、異物を入れしないでください。
- セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出していたり、はがした痕があったりするCDは使用しないでください。そのままCDプレーヤーに入れると、CDが取り出せなくなり、故障の原因となります。
- ディスクがスムーズに挿入口に入らない場合は、本機に他のディスクが入っているか、修理が必要な場合が考えられます。

1 ディスク挿入口にディスクを入れる



→ ディスクを入れると、自動的に再生がはじまります。

ディスクを取り出す

バックアップイジェクト機能について…

本機の電源が入っていない状態からでも[▲]ボタンを押すと、ディスクを取り出すことができます。

1 [▲] ボタンを押す



→ ディスクがイジェクトされたら、取り出します。

すでに入っているディスクを聴く

1 [MODE] ボタンを押して、CD を選ぶ



→ 押すたびに、次のように切り換わります。

AM → FM → CD → AUX → AM...

CD モードになると、自動的に再生がはじまります。

ご注意

- ・ ディスクや AUX が入っていないときは、「CD」や「AUX」をスキップします。

曲を選ぶ

1 次の曲を聴くときは、[▶] ボタンを押す

前の曲を聴くときは、[◀] ボタンを 2 回押す



- ・ [◀] ボタンを押すと、再生中の曲を最初から再生します。さらに押すと、前の曲を再生します。

早送り / 早戻しする

1 早送りするときは、[▶] ボタンを押し続ける

早戻しするときは、[◀] ボタンを押し続ける



次のフォルダを切り替える

1 [CH] ボタンを押す



→ 押すたびに、次のフォルダに切り換わります。

フォルダを切り替える (フォルダ選択モード)

1 [CH] ボタンを押し続けて (2 秒以上) フォルダ選択モードを選ぶ



- 「FOL」表示が点滅します。
- ・ 操作がない場合、10 秒後にフォルダ選択モードが解除されます。

2 [◀]、[▶] ボタンを押す

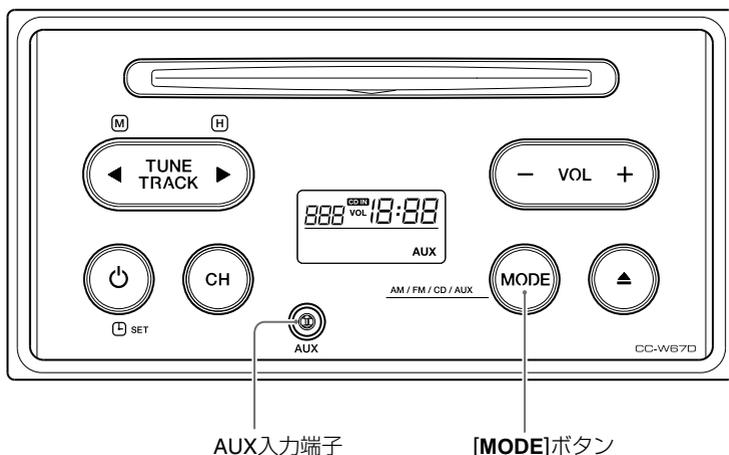


→ [◀] を押したときは前のフォルダに、[▶] を押したときは次のフォルダに移ります。

ご注意

- ・ MP3/WMA ディスク再生時にフォルダに切り替えて、そのフォルダ内の最初の曲から再生します。

ポータブルオーディオを聴く (AUX)



AUX を選ぶ

本機に市販のポータブルオーディオなどを接続して、音楽ソースを聴くことができます。

1 [MODE] ボタンを押して AUX モードを選ぶ



→ 押すたびに、次のように切り換わりま
す。

AM → FM → CD → AUX → AM...

接続されたポータブルオーディオのプ
レイ操作で、再生されます。

ご注意

- ・ ディスクや AUX が入っていないとき
は、「CD」や「AUX」をスキップし
ます。

AUX 入力の接続のしかた

市販のステレオミニプラグコードを使
用して、ポータブルオーディオを本機正
面パネルの [AUX 入力端子] へ接続し
てください。

接続には、3.5mm ステレオミニプラグ
を使用してください。

⚠ 注意

- ・ プラグを接続している状態で、プラグに
無理な力を加えないでください。また、
ポータブルオーディオを使用しないとき
には、プラグを抜いてください。

故障かな？と思ったら

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう一度次のことをお調べください。

	現象	原因	処置
共通	電源が入らない (音が出ない)	機器に電源が供給されていない	車輻側のヒューズが切れている場合は、同じ容量のヒューズと交換してください。ヒューズが切れていない又は再度切れる場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
		配線が不完全	お買い求めの販売店にご相談ください。
ラジオ	雑音が多い	放送局の周波数に合っていない	正しい周波数に合わせてください。
	自動選局で選局できない	強い電波の放送局がない	手動選局モードで選局してください。

エラー表示について

本機は、システム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。障害が発生したときは、各種のエラーが表示されますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に戻ります。

	エラー表示	原因	対処方法
ディスク再生	E-02	CD メカ不具合	ディスクを一旦イジェクトし、再度挿入してください。
	E-03	ディスクに傷などがあり、再生できないとき	傷やソリのないディスクと交換してください。
	E-06	ディスクを裏返しに入れ、再生できないとき	ディスクをイジェクトし、正しく入れ直してください。
再生できるファイルが入っていない		録音されているディスクと交換してください。	

上記以外のエラーが表示されたときは、本体の電源を切り、お買い上げの販売店にご相談ください。

仕様

■ FM 受信部

受信周波数範囲	: 76.0 ~ 95.0MHz
中間周波数	: 150kHz
実用感度	: 15dB/uV 以下
信号対雑音比	: 50dB 以上

■ AM 受信部

受信周波数範囲	: 522k ~ 1,629kHz
中間周波数	: 25kHz
実用感度	: 39dB/uV 以下
信号対雑音比	: 45dB 以上

■ MP3/WMA 部

セクタ構造: CD-ROM モード 1、モード 2-
フォーム 1 (自動判別)

論理フォーマット:

ISO9660 レベル 1,2/Joliet/Romeo

フォルダ構造: 8 階層

1 フォルダあたり最大 255 ファイル

ファイル数: ファイル+フォルダ数 (ルート含む) の最大値は、512

[MP3]

MP3 デコード: MPEG-1、2、2.5 オーディオ
レイヤー 3 準拠

サンプリングレート (kHz):

MPEG-1 : 32、44.1、48

MPEG-2 : 16、22.05、24

MPEG-2.5 : 8、11.025、12

ビットレート (kbps/VBR):

MPEG-1 : 32 ~ 128、160 ~ 320

MPEG-2 : 8 ~ 128、160 ~ 320

MPEG-2.5 : 8 ~ 128、160 ~ 320

[WMA]

ビットレート (kbps/VBR):

48、64、80、96、128、160、192

■ オーディオ部

最大出力: 16W × 4 (CD、1KHz、4Ω、14V
入力時)

AUX 入力感度 / Imp.: 650mV/12KΩ

適合出力負荷インピーダンス: 4 Ω

■ 総合

電源電圧: DC13.2V

接地方式: マイナス接地

消費電流: 12A 以下

バックアップ電流: 3mA 以下 (13.2V 時)

外形寸法:

206mm(W) × 104mm(H) × 175mm(D)

質量: 約 1.1kg

* これらの仕様およびデザインは、改善のため、
予告なく変更する場合があります。

アフターサービスについて

■ アフターサービスについて

この商品には、保証書もしくは購入証明書が添付されています。必要事項を購入店で記入しますので記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、再発行はいたしませんので、ご注意ください。

■ 保証期間

添付の保証書をご確認ください。

■ 万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証書の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。お買い求めの販売店にご相談ください。

■ 保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

■ 補修用部品の保有期間について

本商品の補修用部品(機能を維持するために必要な部品)は、製造打ち切り後6年保有しています。

発売元

ダイハツ工業株式会社



280-9446-00

Printed in China 2016/9